

《共通科目》

授業科目名	研究方法 A-I (量的研究方法の基礎) <i>Research Methods A- I</i>			担当教員	濱元 淳子
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15(1)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	看護・保健領域での研究において使用されている量的研究方法に特化して、統計分析の基礎を習得する。				
到達目標	1. 学術論文で用いられているデータ解析手法を基礎概念に即して理解できる 2. データの性質に応じて適切な統計手法を選択し、分析し、その結果を解釈できる				
授業計画	1回：研究における統計学の役割と意味 ・標本の分布 ・統計学的仮説検定の原理・目的・実際 2回目：関連2群の差の検定 ・1標本(パラメトリック法・ノンパラメトリック法) 3回目：独立2群の差の検定 ・2標本(パラメトリック法・ノンパラメトリック法) ・等分散性の検定 4回目：判断分析 ・感度・特異度・ROC解析 ・カットオフ値の設定 5回目：出現頻度に関する検定 ・1要因の場合 ・2要因の場合 6回目：独立多群間の比較 ・多群間の同時比較 ・分散の均一性の検定 7回目：2変量の関係を調べる① ・相関関係の解釈 ・パラメトリック法・ノンパラメトリック法 8回目：2変量の関係を調べる② ・最小二乗法の原理と回帰直線 ・回帰と回帰の方向性				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目を受講するにあたり高度な数学は必要ありません。数学が得意な人も、苦手な人も、楽しく統計学が学べるよう授業を設計していますが、限られた回数の中で効果的に進めていくために、2回目以降の講義に関しては、テキストの該当部分(毎回指定します)を熟読したうえで参加してください。 ・合同演習などの前期科目で使用した量的研究論文も使用します。 ・講義の復習として、課題(練習問題)を配布しますので、指定の期日までに提出してください(評価の対象になります)。 ・毎回、必ず電卓を持参してください。 				
オフィスアワー	金曜日の昼休み ※事前にアポイントを取ってください。j-hamamoto@jrckicn.ac.jp				
テキスト	栗原伸一：入門統計学―検定から多変量解析・実験計画法まで。東京，オーム社，2011				
参考文献	大木秀一：基本からわかる看護統計学入門。東京，医歯薬出版株式会社，2016。 Stephen B. Hulley, et. al.；木原雅子他訳：医学的研究のデザイン第4版。東京，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2014。 Mitchell H. Katz, et. al.；木原雅子他訳：医学的研究のための多変量解析。東京，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2008。				
評価方法	課題(80%)、授業参加度(20%)				